

No. 10 子供議会の導入について（令和４年８月受付）

内容	先日テレビで山形県飽海郡遊佐町の子供議会が紹介されていました。 年間予算 45 万円程度が与えられ、議論し、政策を実行しています。 例として一時間に一本しかない駅にベンチを設置したそうです。電車をあまり利用しない大人達からは出てこない案かと思います。 大多喜町は幸い周辺の高校がなくなる中、存在しています。なくなつてからでは実行しづらい物かと思います。首都圏に住む方々が大多喜町は政治への意識が高い町だから子供を育てたいと思ってもらえれば、若い世代の移住が進むかと思います。
回答	若い世代の町政への参画と、参画することによる町の活性化の可能性についての御指摘かと存じます。 町政への参画につきまして、本町では、民主的な政治について理解を深めることを目的として、平成１７年から町内中学生を対象とした「中学生議会」をほぼ毎年実施しております。中学生が大多喜町議会議員として町政について質問や提案を行い、これらに対して町執行部が答弁するもので、実際の議会に近い臨場感を体感することができます。 町の活性化につきまして、昨年度は、小学５年生が町の課題について職員から説明を受け、プログラミング教材を用いて解決に向けた提案を行いました。また、中学１年生が町の歴史や環境、観光等についてテーマを設定し、関係者にインタビューを行い考察し、更に大多喜高校１、２年生が町に関するより専門的なテーマを設定し、１年かけて探求した成果を発表しました。若い世代ならではのアイデアに触れることが期待でき、提案によっては予算措置も十分に考えられます。 町としましては、今後も学校と連携し、児童生徒が町づくりにかかわる機会を提供してまいります。また、活性化には多くの方から御意見

	をいただくことが欠かせません。お気づきのことがありましたら、お知らせくださいますようお願い申し上げます。
--	--